

【重点課題】

「大阪の総合力」の強化

①何を指すのか、目指すべき方向は？

戦略課題の目標

世界、とりわけアジアの熾烈な都市間競争の中で、「大阪の総合力(※1)」の強化を図ります。

(※1 ここでは、インフラ整備状況や経済力、ビジネス環境や集客力、人材育成力や研究開発機関の蓄積、教育や定住環境など、大阪が、世界の他都市に対する競争優位性を確保するために必要な都市としてのポテンシャルや魅力を総称して、「大阪の総合力」と表現しています)

②その実現に向けて、今年度何をするのか？

施策推進上の目標

■「ランキング(※2)」における大阪の現状分析と課題抽出、施策への反映

「大阪の総合力」を強化するため、各種「ランキング」の中から、代表的なものである「世界の都市総合力ランキング」((財)森記念財団 都市戦略研究所)や「統計でみる都道府県のすがた」(総務省)等のデータに係るランキングをベンチマークとして活用し、世界の都市との比較の中で、大阪の強み、弱みを分析するとともに、伸ばすべき点や改善すべき点を明らかにし、(1)～(3)の取り組みを実施します。

(※2 ここでは、様々な機関・団体から、都道府県・都市別統計やアンケート結果などを活用し、分野ごとに順位づけて公表されている資料を総称して、「ランキング」と表現しています)

(1)府としての取り組み

府として取り組むべきものは、関連施策の改善・補強を行うとともに、「府政運営の基本方針」に位置付けて、新規施策として取り組みます。

(2)国への提案

規制緩和や税制改正など国の法制度の改善が必要なものは、国に提案します。

(3)オール大阪での課題の共有

課題をオール大阪で共有し、府民をはじめ、市町村・経済界・民間企業・NPOなど、それぞれの努力を働きかけます。

③その取り組みにより、何をどのような状態にするのか？

アウトプット

■「ランキング」から抽出した政策課題への対応強化と当該「ランキング」の向上

各種「ランキング」のデータをもとに、大阪の強みや弱みを明らかにし、その要因を分析し課題を抽出したうえで、府としての取り組み強化、国への提案、オール大阪での課題の共有などを進めることにより、当該「ランキング」の向上を図ります。

アウトカム

■「大阪の総合力」の向上

- 大阪の総合力が高まっていると感じる府民の割合の向上
 - ・おおさかQネット H23.8:34.3% ⇒ 向上を目指す
- 世界の都市総合力ランキング[(財)森記念財団 都市戦略研究所]の向上
 - ・短期: H23.2 18位 ⇒ 向上を目指す
 - ・中長期(10年): " ⇒ 5位を目指す